

公益社団法人 全国市有物件災害共済会

防災専門図書館

—日本で唯一の防災・災害に関する専門図書館—

防災専門図書館は、「防災、災害等に関する資料の収集とその活用・発信を通じて、住民のセーフティネットとして貢献する」ため、公益社団法人全国市有物件災害共済会により運営されている専門図書館です。

昭和31年7月の開設以来、台風や地震などの自然災害だけでなく、火災や交通事故・鉱害・環境問題・戦災など、様々な災害やその対策、そして防災教育などの普及啓発に関する約15万冊の資料を収集しており、これだけの資料をまとめて見られるのは、全国でも当館だけだと思います。



例えば…

火災関係では、40種を超える雑誌（日本語・外国語）をご覧ください。

図書では、火災調査の教本や報告書、酒田大火や林野火災などの資料、消防大学校・消防科学総合センターなどの専門機関の刊行物、各市・地域の消防署・消防団の年史や消防年報などの統計類等、様々な資料を収集しています。

このほかにも、江戸時代に作成された90点の「かわら版」を所蔵しています。下図左の「江戸大火」（赤の部分が延焼地域）といった火災の他に、地震や洪水などを題材にしたものもあります。

また、1925年に震災予防調査会が発行した関東大震災の調査報告書には「火災動態地図」が付されており、時間の経過に伴う延焼方向がわかります（下図右）。

「かわら版」「関東大震災調査報文」は、ともにデジタル化し、当館ホームページで公開しています。ぜひご覧ください。（<http://www.city-net.or.jp/library>）



かわら版「江戸大火」



「火災動態地図」(部分)

企画展も開催!!

防災専門図書館では、防災の意識を向上していただけるよう、所蔵資料を利用して企画展を開催しています。

平成27年1月～2月には「阪神・淡路大震災から20年ー都市で起こりうる災害を考えるー」を開催しました。会場には、震災当時の様子を思い出し、知っていただくための所蔵資料・写真・解説パネルを配置し、あわせて「首都圏で地震が起きたならどうしますか?」と問いかけ、普段から防災を意識していただけるよう防災グッズや災害食レシピ本なども展示しました。

来年には5年の節目を迎える東日本大震災の企画展を開催しますので、ご来場をお待ちしています。

どなたでもご利用いただけます!

東京都千代田区平河町2-4-1 日本都市センター会館8階 ・最寄駅:東京メトロ永田町駅
電話:03-5216-8716・8717 メール:lib.bousai@city-net.or.jp

平成27年度防災啓発研修講演会の開催

一般財団法人 消防科学総合センター

防災啓発研修講演会が、社会、経済環境の多様化に伴う災害の要因の複雑化、被害増大の傾向に対応し、消防防災関係者等に対して広く防災に関する知識の普及に努め、地域の防災力の向上を図ることを目的として、平成27年7月2日(木)、3日(金)に東京都港区の日本消防会館(ニッショーホール)で地方公共団体の消防防災関係職員、民間関係団体職員等を対象に開催され、尾池和夫京都造形芸術大学学長、渥美公秀大阪大学教授、室田哲男消防庁国民保護・防災部長、白鳥孝伊那市長等が講演されます。受講料は無料ですので聴講を希望される方は、6月25日までに当センターまでお申込みください。

(問合せ先 電話0422-49-1113 担当 田村、渡辺)

【編集後記】

これまでになかった地域防災のための総合情報誌として創刊された『地域防災』。「全国の先進事例は参考になる」、「防災活動の実態を知りたいので、いろいろな活動記事をお願いしたい」、といった声が寄せられました。今月号でも全国各地のさまざまな活動事例を紹介していますが、こうした活動を知れば知るほど、日本の地域社会や組織の底力を改めて痛感しています。当協会としても本誌の一層の充実のため、さらに頑張っていく覚悟です。

地域防災に関する総合情報誌 **地域防災** 2015年6月号(通巻2号)

■発行日 平成27年6月15日

■発行所 一般財団法人日本防火・防災協会

■編集発行人 佐野 忠史

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-9-16(日本消防会館内)

TEL 03(3591)7121 FAX 03(3591)7130

URL <http://www.n-bouka.or.jp>

■編集協力 近代消防社